

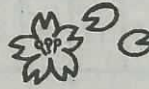
平成27年度 先生・お薦めの1冊

今年度も7名の先生方に「先生・お薦めの1冊」を紹介して頂きました。旅の本や趣味の本、歴史小説に動物の物語など、たくさんの読書の楽しみ方を教えて頂きました。今年度紹介して頂いた本を再度紹介します。ぜひお読みください。

*堂菌幸夫先生 (数学科)

『深夜特急 1～6』 沢木耕太郎 著 (新潮社)

インドのデリーからイギリスのロンドンまで乗合いバスで行く……。著者・沢木耕太郎の紀行文に触発された若き日の堂菌先生。そして先生も旅へと……。堂菌先生ご自身の旅への思いも紹介していただきました。



*谷口隼大先生 (理科)

『不動心』 松井秀喜 著 (新潮社)

大学時代、サッカー部で活躍された谷口先生。思うような結果が出せず悶々とした日々の中、同じサッカー部の仲間に勧められ読んだ1冊だそうです。野球人としても人としても高く評価されている松井の言葉に、多くのことを学んだ谷口先生。私たちも何かに行き詰まった時、きっと力をもらえる本に違いありません。

*廣瀬裕二先生 (英語)

『小さき者へ』 重松清 著 (新潮社)

家族や父親について書かれたこの短編集の中から、廣瀬先生は「団旗はためく下へ」という作品を紹介してくださいました。高校を中退して美容師を目指そうとする美奈子と、それに猛反対する父親。果たして美奈子はどのような結論をだすのでしょうか。思わず涙がこぼれる1冊です。



*常盤憲史先生 (体育科)

『坂の上の雲』 司馬遼太郎 著 (文藝春秋)

鹿児島中央高校生必読の書！と常盤先生はおっしゃいます。その通りです。卒業までに読んでおきましょう！



*中嶋友美先生 (芸術科・美術)

『サラバ！ (上・下)』 西加奈子 著 (小学館)

西加奈子の直木賞受賞作品です。エジプトを舞台に、主人公とその不思議な家族が織りなす物語を、中嶋先生は心にひりひりした感覚を覚えながら読まれたそうです。ひりひりした感覚とはどんな感覚なのでしょうか。読者それぞれの心に、引っかかる何かを残すことが「物語を読む」ことなのかもしれません。



*上ノ園雅央先生 (地歴公民科)

『サクリファイス』『エデン』『サヴァイヴ』 近藤史恵 著 (すべて新潮社)

校門を出てペダルに足をかける瞬間が好き……。と言われる上ノ園先生。お薦めは「自転車競技」の本でした。自転車レースの過酷さとスリル、エースとアシストという立場。きっと自転車競技は奥が深く、様々な駆け引きからドラマが生まれるのでしょう。自転車競技を知らないという人をも虜にするこのシリーズ、過酷なレース展開と選手自身の葛藤を物語でお楽しみください。



*大迫貴子先生 (国語科)

『悲しみの底で猫が教えてくれた大切なこと』 藤森古都 著 (SBクリエイティブ株式会社)

「人は、言葉にだまされ、言葉に傷つけられ、そして悲しみの底で溺れてしまう。でも、悲しみの底から救ってくれるのも言葉。ただ、その言葉は人間の声とは限らない。」猫と関わって生きる登場人物たちの成長の物語です。心に傷のない人などいないはずです。優しく元気を与えてくれる1冊です。是非、お読みください。



春休みの利用について

*春休みは館内整理のため、貸出はできません。返却はできます。明日3月25日(金)までは通常通りです。

*学習室の利用について

利用時間 平日 8:30～16:45
土・日 8:30～16:30

昼食は視聴覚室を利用してください。利用時間は12:00～13:00です。



2月のクラス別貸出統計 362冊

4月の総貸出冊数	844冊	5月の総貸出冊数	311冊	6月の総貸出冊数	454冊
7月の総貸出冊数	235冊	8月の総貸出冊数	64冊	9月の総貸出冊数	179冊
10月の総貸出冊数	204冊	11月の総貸出冊数	275冊	12月の総貸出冊数	213冊
1月の総貸出冊数	225冊				

学年 組	1年								2年								3年							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
貸出数	13	8	8	4	28	14	25	12	0	3	8	1	44	6	2	0	12	31	6	36	36	48	5	12
合計	112冊								64冊								186冊							

4月・5月は1年生中心の貸出でしたが、年が明けて1月・2月は3年生の小論文対策の貸出がほとんどでした。2ヶ月足らずで専門書を何冊も何冊も読むことは大変な作業です。2年生の時から、将来を見据えた読書を始めるとをお勧めします。5月の連休や夏休みなどを利用して、少しずつ読んでおきましょう。また、ニュースや新聞も貴重な資料です。常に時事問題へのアンテナを張り巡らしておくことが大切です。

平成27年度 よく読まれた本

- 1位 『あさきゆめみし 1』大和和紀 著 (講談社)
- 2位 『ディズニーおもてなしの神様が教えてくれたこと』鎌田洋 著 (SBクリエイティブ株式会社)
- 3位 『舟を編む』三浦しをん 著 (光文社)
- 3位 『ディズニーサービスの神様が教えてくれたこと』鎌田洋 著 (SBクリエイティブ株式会社)
- 5位 『博士の愛した数式』小川洋子 著 (新潮社)
- 5位 『鹿の王上』上橋菜穂子 著 (KADOKAWA)
- 5位 『キャロリング』有川浩 著 (幻冬舎)
- 8位 『あさきゆめみし 2』大和和紀 著 (講談社)
- 8位 『化物語 上』西尾維新 著 (講談社)
- 8位 『看護』増田れい子 著 (岩波書店)
- 8位 『火花』又吉直樹 著 (文藝春秋)
- 12位 『まる、ん?』小泉吉宏 著 (幻冬舎)
- 12位 『一瞬の風になれ 1』佐藤多佳子 著 (講談社)
- 12位 『レインツリーの国』有川浩 著 (新潮社)
- 12位 『謎解きはディナーのあとで』東川篤哉 著 (小学館)
- 12位 『傷物語』西尾維新 著 (講談社)
- 12位 『純喫茶「一服堂」の四季』東川篤哉 著 (講談社)
- 12位 『ビブリア古書堂の事件手帖 6』三上延 著 (KADOKAWA)
- 12位 『マスカレード・ホテル』東野圭吾 著 (集英社)

今年度の一番借りられた本は『あさきゆめみし』でした。この本は、漫画版・源氏物語です。古典の入門書として読まれたようです。修学旅行前に読まれたディズニーシリーズ。ディズニーランドで働く人々の話です。本屋大賞や芥川賞を受賞した作品はよく読まれました。



*この後には、湊かなえ・柳田理科雄・池井戸潤・柳広司・伊坂幸太郎・米澤穂信などの人気作家の作品が続きます。ベスト100の中に入った海外文学は『星の王子さま』と『ハリー・ポッターとアズカバンの囚人3-1』の2冊だけでした。

編集後記

あっという間に1年が過ぎ去ろうとしています。学習室の主役も、いよいよ新3年生にバトンタッチされました。是非、春休みから図書館学習をスタートしてください。

来年度こそは、もっともっと本を読んでください。たとえば、教育学部を希望している人は「主人公が教師」という小説を読んでみてはどうでしょうか。主人公とともに考え、悩んでみましょう。そして、次のステップとして岩波新書等の教育論を読んでみる。そして考える。新聞を読む。雑誌を読む。そして考える。私たちの周りには、沢山の教材があることに気づきます。また、知識だけではなく、本は私たちにたくさんの感動を与えてくれることを忘れないでください。

春休みに気持ちを切り替え、また4月にお会いしましょう。